

※グループの場合は、筆頭者(リーダー)の氏名、所属、当該企業もしくは学校区分及び所在地を記載して下さい。

ユースケース	<p>⑦つの該当するユースケースに☑を入れて下さい。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>①生産現場における課題を解決するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>②工場や企業の外と情報をやり取りする際の課題を解決するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>③事務における課題解決ツール</p> <p><input type="checkbox"/>④グローバル化にともない海外で展開する為に役立つツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑤自社製品をIoT化するためのツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑥データの活用全般に関わるツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑦人材育成の観点で活用できるツール</p>				
	ツール名	いろいろ			
候補者	(フリガナ) ツチダ マサユキ	他 名	企業名/学校名	(フリガナ) カブシキガイシャインフォアーム	
	土田 正幸		団体名/個人名	株式会社インフォアーム	
企業区分	<input type="checkbox"/> 大企業	所在地	(都道府県) 岐阜県	開発形態	<input type="checkbox"/> 既存のモノを利用
	<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業			<input checked="" type="checkbox"/> 新規開発	
	<input type="checkbox"/> 学生			開発費用	<input type="checkbox"/> 分からない
	<input type="checkbox"/> その他 ()			<input type="checkbox"/> 円	

ツールのPRポイント

◎ツールの概要(どんなお悩みを解決できるものか) ※250字以内

ツールの概要:
「いろいろ」とは、2次元の次世代カラーバーコード、「カメレオンコード」を利用したソリューションです。
「カメレオンコード」の特徴は下記になります。

- ・複数のコードを一括読みできる(10~100個の同時読み込みが可能)
- ・専用のリーダーが必要なく、汎用端末で読み込みが可能(スマートフォンやUSBカメラ、ネットワークカメラなど)
- ・汎用端末により読み込みにより、場所を選ばない容易な仕組みが実現できる
- ・遠くからでも認識ができる(スマートフォンやUSBカメラでは1mから、ネットワークカメラでは数10mから認識が可能)
- ・家庭用カラープリンタで印刷し、使用することが可能
- ・ICタグの様に、電波の干渉がなければ、熱で破損することもない

このようなカメレオンコードを人や物に添付し、カメラでコードを撮影することで、対象の個別認識が可能となります。
コード読み取りから、その結果や情報の確認、蓄積を行うソリューションが「いろいろ」です。

◎導入容易性やコストパフォーマンス ※500字以内 (いくらで導入できるか、どれぐらいのどういった効果が期待できるか)

期待される効果:
「いろいろ」の利用は2つに大別し、期待される効果を説明します。

①人にコードを添付し、人の所在管理、入退場管理を行うこと

- ・生産現場で作業員が何時現場に入場し、何時、何処で働いているのか、ということをリアルタイムに把握できる
- ・曖昧だった作業員の動きをより厳密に管理できる
- ・RFIDなどのICチップ、カードは必要なく、また、これらとは違い、かざす行為がなく、ハンズフリーで効率的な入退場が実現できる
- ・作業員の動きを情報として蓄積するため、現場の分析に役立てる

②物にコードを添付し、物品の棚卸管理やトレーザビリティを行うこと

- ・生産現場や倉庫での、物品の棚卸管理や、何時入庫、出庫したのかといったトレーザビリティが実現できる
- ・物品の棚卸漏れや誤出荷の防ぐことにより、必要のない損失を減らすことができる

◎導入波及性や有効性、安全性 ※500字以内 (横展開の可能性や、セキュリティへの考慮等)

導入の波及性:
・人や物の管理を行うことにより、取引先や消費者の信頼度向上が見込まれる

横展開の可能性:
「いろいろ」あらゆる利用シーンを想定され、汎用性の高いツールになっています。
コード読み取りから、読み取り結果や情報の蓄積の後、情報の出力や連携の機能を持たせることが可能です。
お客様のソリューションと連携を取ることで新しい仕組みとして販売していくことができます。

セキュリティへの考慮:
「いろいろ」はコードを読み取るための端末と、読み取った結果を集約するサーバの2つで構成されます。
サーバはクラウドで利用することもできれば、オンプレミスで利用することもできるため、セキュリティへの考慮が十分になされたソリューションです。

◎使用方法 取扱説明書 ※500字以内

使用方法:

「いろあと」は下記の2つによりシステムが構成されます。

①コードを読取る端末

- ・iPhoneやAndroid、Windowsタブレット、USBカメラなどの汎用端末
- ・ネットワークカメラ、FAカメラなどの高性能カメラ

②読取った結果を集約するサーバPC

- ・クラウドサーバ、社内サーバどちらでも利用可能

①は端末ごとの読取りアプリケーションを、

②は情報の確認と出力機能を備えた専用のWEBアプリケーションを用意しています。

記載事項チェック欄

印刷時に枠内に文字が収まっているか。

◎自由記述 ※1500字以内 導入事例・実績、導入支援体制(有れば)等記載、その他概要図、写真の貼付も可 ※4点

導入事例・実績:

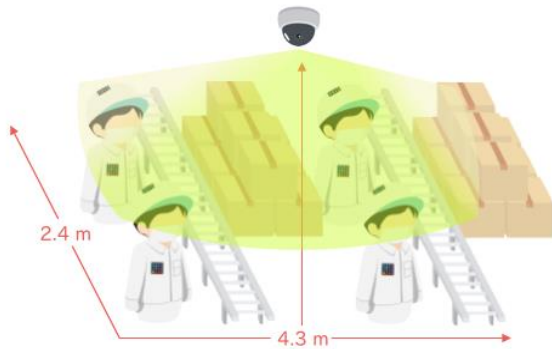
食品工場と物品管理で数件実績があります。

導入支援体制:

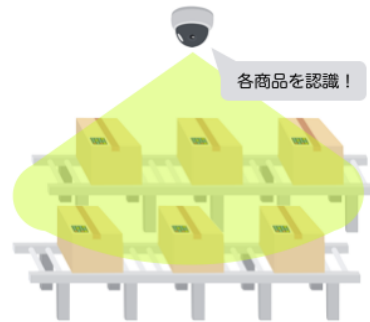
直販だけでなく、パートナー支援など、あらゆる支援が可能です。

現場環境のイメージ

現場環境ではネットワークカメラを天井に設置し、作業者を常時撮影します。撮影範囲は下記の図のように、カメラ高さを4.7メートル、現場環境の明るさを300Luxとした場合、**2.4 x 4.3メートルの範囲で作業者を認識することができます。**このエリアで異常事態を感じると、管理者にアラートを通知します。



商品の自動認識による
トレーサビリティシステム



「いるあと」では、**カメレオンコードを添付した商品を認識することができます。**商品を認識することで、何処で生産された商品が何処に向かうかを管理するトレーサビリティシステムの構築が可能です。

すでに使われている
入退室管理システムとの連携



「いるあと」では、**すでに利用されている入退室管理システムとの連携にも対応することができます。**作業員の認識をトリガーとして、扉の開閉錠を行います。

作業員の行動データを元に
業務効率化を計りたい



「いるあと」では、蓄積された過去の情報をもとに、素早く調査、分析可能なデータを提供します。各工程の作業時間など、**細かな作業情報を収集し、現場改善に役立ちます。**

記載事項チェック欄

印刷時に枠内に文字が収まっているか。

図など貼付の際、文字などが潰れていないか。

■第1回 中堅・中小製造業者向けIoTツール募集イベント 書類
(様式4)「追加情報」

ツール名 ※40文字以内

次世代カラーバーコードを使ったIoTツール「いろあと」

ひとことPRコメント(15文字以内)

カメレオンコードを使ったIoT

参考Webページ(URL)

<http://www.iroato.com/>

(様式5)「問合せ先情報」

問合せ先情報

企業名 組織名	株式会社インフォファーム
住所	〒501-6123 岐阜県岐阜市柳津町流通センター1丁目8-4
電話番号	058-279-1881
メール	nbo@infofarm.co.jp
ホームページ	http://www.infofarm.co.jp/
担当者名	土田 正幸 (つちだ まさゆき)